タウンニュース®
株式会社タウンニュース社 ☎044-860-4111㈹ FAX044-860-4001 高津区編集室・〒216-0035川崎市宮前区馬絹2880-1 http://www.townnews.co.jp
発行責任者／宇山 知成
編 集 長／木曽 祐司
■高津区版／No.683平成23年3月11日(金)号

「Web版タウンニュース」で神奈川まるごと検索 パソコン、

寄稿

「見える川崎市政」の実現 新しい「公共」

川崎市議会議員 ほりぞえ健

企画・製作／民主党ほりぞえ健事務所

ほりぞえ健

川崎市政改革の新たなステージを始めるためには、「見える川崎市政」の実現が必要です。川崎市の本当の姿がどうなっていて、私たち市民の努力でどうなりうるのか。ありのままに直視することから、すべての改革が始まります。

まず、最優先で取り組むべき課題は、急速に進みつつある少子化傾向に歯止めをかけることですが、それと同時に、現役世代（生産年齢人口）急減の影響も緩和しなければなりません。

すでにわが国は、毎年毎年100万人ずつ現役世代が減少しはじめています。より多くの方々に「社会の担い手」となっていただかなければ、社会保障制度だけでなく、社会機能の維持自体が難しくなります。

そのためには、女性の社会参加のサポートや、元気な高齢者が様々な形で社会の活動に参加できる仕組みを、「公」がきちんと構築し支援することが大切です。たとえばボランティア活動にしても、今まではどちらかといえば、より生活を豊かにする分野が中心だったと思います。それをさらに一歩進めて、社会に欠くことのできない分野へと広げていくことが求められているのではないでしょうか。最終的な責任は公が負いつつ、多くの方々が社会の担い手となることができる仕組みを築くことが、公の大切な役割になると思います。

また、若年層を中心とした高い失業率の問題や、非正規雇用における格差問題も、少子化対策という観点から位置づけ、取り組んでいくべきだと私は考えます。

民主党川崎市議団
ほりぞえ健事務所
〒213-0033
高津区下作延2-8-57 エスビル4階
☎044(855)1479
E-mail:HoriKen@horizoe.com
HP:http://www.horizoe.com

プロフィール

- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。48歳。
- 東京都三鷹市で地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブン－イレブン本部での情報システム構築をはじめITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年、川崎市議会議員に初当選。現在2期目。
- 妻と長女の3人家族。下作延在住。

ほりぞえ健と語る集い 会費無料
3月19日(土)
午後2時半開始(2時開場)
於 てくのかわさき